

# 九州建設技術フォーラム 2023

- 日程 2023年10月11日(水)・12日(木)
- 会場 福岡国際会議場 1F・2F・3F・4F (福岡市博多区石城町2-1)
- 主催 九州建設技術フォーラム実行委員会



【開催報告】

# 【目 次】

## ■「九州建設技術フォーラム 2023」開催報告

1. 「九州建設技術フォーラム」開催主旨及び実施概要	・・・・・・・・・・	P1
2. 開催結果	・・・・・・・・・・	P1
3. 実施内容	・・・・・・・・・・	P1
●1日目（10月11日）		
(1) 開会式	・・・・・・・・・・	P1
(2) 基調講演	・・・・・・・・・・	P2
(3) 技術情報提供	・・・・・・・・・・	P2～
・技術情報のブース展示		
・ポスターセッション		
・自治体パネルの展示		
・プレゼンテーション		
・リクルーティングプレゼンテーション		
・新技術相談コーナー		
・WEBサイトによるオンライン出展		
●2日目（10月12日）		
(1) 技術情報提供	・・・・・・・・・・	P11～
・技術情報のブース展示		
・ポスターセッション		
・自治体パネルの展示		
・プレゼンテーション		
・新技術相談コーナー		
・特別プログラム「土木×落語」		
・WEBサイトによるオンライン出展		
4. 入場者数内訳	・・・・・・・・・・	P14
5. 出展方法および所属団体別参加実績	・・・・・・・・・・	P15～
6. 来場者等へのアンケート調査結果	・・・・・・・・・・	P17～
7. 学生へのアンケート調査結果	・・・・・・・・・・	P20～

## ■「九州建設技術フォーラム 2023」開催報告

### 1. 「九州建設技術フォーラム」開催主旨及び実施概要

九州建設技術フォーラムは、新しい建設技術の開発・活用・普及の促進をより効果的に図るため、「産」「学」「官」それぞれが新技術の開発・活用の取組みについて情報を発信し、「産」「学」「官」で技術情報のプレゼンテーションや展示、意見交換会等の形をとりながら連携を深め九州のさらなる建設技術の発展を目指すものです。

今年、メインテーマに「インフラ分野で深化するDX」を掲げて開催。本番初日は、九州大学副学長の園田佳巨実行委員会委員長が主催者挨拶を行い開幕しました。今回の開催内容で特徴的なことは、2019年から来場者及び出展者に協力をお願いしてきた、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を全面的に取りやめ、いろいろな制約をフリーにしたことです。

プログラムでは、講師に立命館大学の建山和由教授をお招きして「DX時代の新しい建設産業に向けて」の演題で基調講演を開催（YouTubeでライブ配信も）しました。

会場計画では、来場者の注目度アップをめざし、これまで1Fロビーで行っていた自治体パネル展示を2Fロビーに移動。また、3年ぶりに新技術相談コーナーを2Fロビーに開設した。

技術の出展状況では、ブース展示数は全体で86組織、出展技術数は131、プレゼンテーションには、32組織が参加。WEBサイトを活用して情報発信を行ったのは、84組織でした。

来場者数は、学校4校（九州大学、九州工業大学、佐賀大学、福岡建設専門学校）が参加できたこともあり、2日間で2,386名（1日目：1,337名、2日目：1,049名）が来場しました。

また、同時開催イベントとして「インフラメンテナンス国民会議九州フォーラム第8回ピッチイベント」も行いました（※開催は10月12日のみ）。

### 2. 開催結果

○リアル展示等開催（ブース展示・ポスターセッション・基調講演等）

【開催日時】 1日目：令和5年10月 11日（水） 13:00～17:00

2日目：令和5年10月 12日（木） 10:00～16:30

【開催場所】 福岡国際会議場 1Fロビー、2F多目的ホール、3Fメインホール、4F会議室  
（福岡市博多区石城町） TEL.092-262-4700

○オンライン開催（WEBサイト）

【閲覧期間】 令和5年10月11日（水）～令和5年11月30日（木）

### 3. 実施内容

#### ●1日目（11日）

##### （1）開会式



・実行委員会役員登壇



・主催者挨拶（園田委員長）

(2) 基調講演 ※聴講者は 712 名 ※YouTube 配信期間：10 月 11 日～11 月 30 日

- ・ 演題：「DX 時代の新しい建設産業に向けて」
- ・ 講師：建山 和由氏（立命館大学 総合科学技術研究機構 教授）



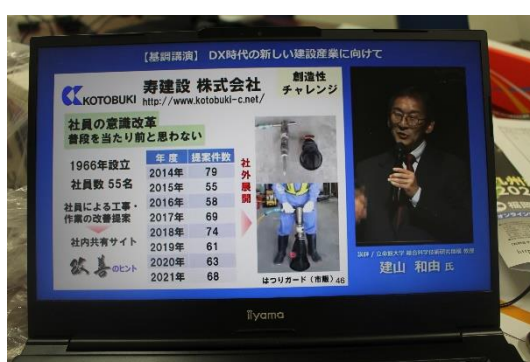
・ 会場風景



・ 講師（建山氏）



・ 講演風景



・ YouTube の WEB 中継（パソコン受信画面）

### (3) 技術情報提供

○1 日目（10 月 11 日）

#### 1) 技術情報のブース展示（※10 月 11 日・12 日の 2 日間）

- ・ テーマ：「インフラ DX」「安全防災」「維持管理」「環境」「品質」「学会活動報告他」
- ・ 出展数：86 ブース（出展者数：1 階 10 ブース 2 階 76 ブース）

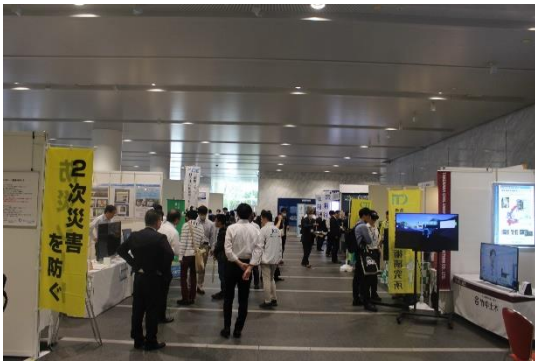
#### ▼ 2 階会場展示状況





▼ 1階会場展示状況





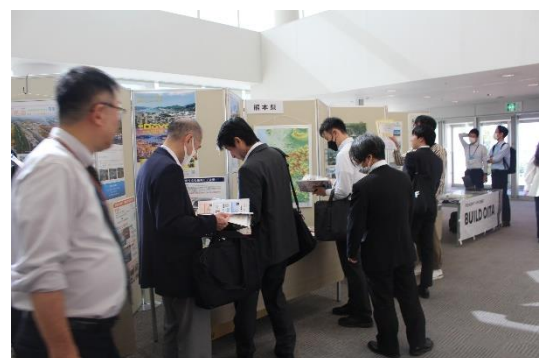
2) ポスターセッション

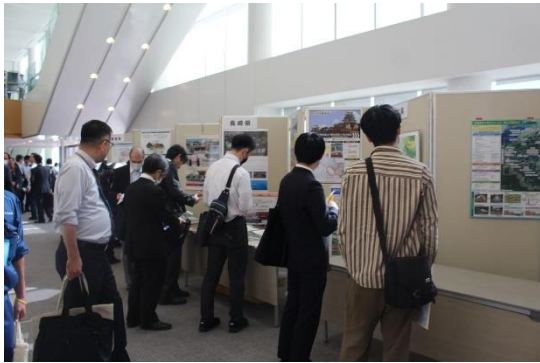
・ 出展者数：8 (企業・協会：4 学会関係：3 行政(国)：1)



3) 自治体パネルの展示

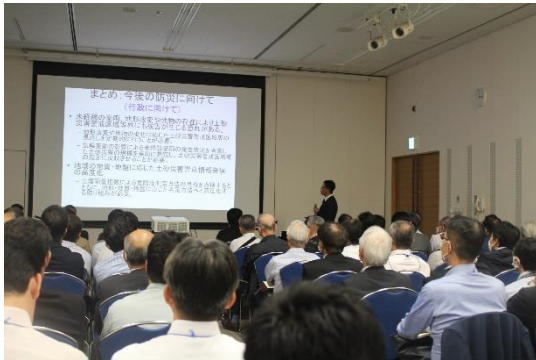
・ 出展自治体：10 自治体 (福岡県 佐賀県 長崎県 熊本県 大分県 宮崎県  
鹿児島県 福岡市 北九州市 熊本市)





4) プレゼンテーション (会場：402・403 会議室+405・406 会議室)

- ・ 参加組織：29 組織 1 日目 (10 月 11 日) → 企業・協会 (団体) 11、学会 1  
2 日目 (10 月 12 日) → 企業・協会 (団体) 14、学会 2、官 1
- ・ 分 野：インフラ DX 10、安全防災 8、維持管理 5、品質 1、環境 1、学会 3、官 1
- ・ 聴講者数：1 日目 (10 月 11 日) → 708 名  
2 日目 (10 月 12 日) → 561 名



5) リクルーティングプレゼンテーション (会場：413・414 会議室) ※開催は11日のみ  
九州大学・九州工業大学・佐賀大学・福岡建設専門学校が来場し、約 220 名が聴講。  
(※参加機関の紹介動画は、専用ホームページにアップして広く公開)

- ・ 参加機関：5 組織
  - (一社) 日本建設業連合会九州支部
  - (一社) 日本橋梁建設協会九州事務所
  - (一社) プレストレスト・コンクリート建設業協会九州支部
  - (一社) 建設コンサルタント協会九州支部
 特定非営利活動法人九州コンクリート製品協会



リクルーティングプレゼンテーション参加機関の紹介動画

(※下の画像は専用ホームページから転載)

オリジナルPR動画	
<p>■一般社団法人 建設コンサルタンツ協会九州支部</p>  <p>公共事業におけるまちづくりを計画、設計</p> <p>国や自治体の依頼を受け、道路、橋梁、トンネル等の社会インフラの整備を通して住みよいまちづくりを支える技術者集団の業務内容と活躍の分野を、アニメを使って紹介します。</p>	<p>■一般社団法人 日本橋梁建設協会九州事務所</p>  <p>橋で街と街を結び、豊かな明日を拓く</p> <p>街と街を繋ぐことで円滑な物流を支え、豊かな暮らしをつくる橋梁の建設や補修・メンテナンスに、高度な技術で応えるプロの仕事ぶりを多彩な画像を使って紹介します。</p>
<p>■一般社団法人 プレストレスト・コンクリート建設業協会九州支部</p>  <p>確かなコンクリート技術で社会基盤を築く</p> <p>日本の安全で暮らしやすい国土建設に欠かすことができないコンクリート構造物が果たす役割やさまざまな施工事例等を、わかりやすい動画を使って紹介しています。</p>	<p>■一般社団法人 日本建設業連合会九州支部</p>  <p>活躍の場は日本のみならず全世界へ</p> <p>国内約50万社で構成される日本トップレベルの業界。活躍の場が全世界へ広がる業界の仕事の内容やビッグプロジェクトに参加する醍醐味を多角的な視点で紹介しています。</p>

6) 新技術相談コーナー (会場：2Fロビー) (※写真は、12日撮影分)

今年、3年ぶりにコーナーを開設した。





## 7) WEB サイトによるオンライン出展

- ・ 出展組織 84 企業・協会（団体）：83 官：1
- ・ 閲覧期間：令和 5 年 10 月 11 日～令和 5 年 11 月 30 日
- ・ 閲覧者数：延べ 228 人（昨年 321 人）
- ・ 閲覧ページ数（アクセス数）：2,115 回（昨年 2,281 回）

九州建設技術フォーラム 2023  
オンラインバージョン

092-284-9211 (業務委託先: ㈱プランニング松元)

お問い合わせ

HOME 開催プログラム 出展者等紹介 「基調講演」LIVE配信 アンケートのお願い

開催テーマ  
インフラ分野で深化するDX

DX  
Digital Transformation

九州建設技術フォーラム  
2023 オンラインバージョン

開催プログラム

出展者等紹介

「基調講演」LIVE配信

アンケートのお願い

「九州建設技術フォーラム2023」の開催プログラムの概要を確認することができます。

最新のイベント情報を随時更新中です。詳しくはこちらからご覧ください。

10月11日の13時15分に開催します「基調講演」は、You Tubeでライブ配信いたします。ご視聴される場合は、クリックしてください。

オンラインWEBサイトで本フォーラムにご参加いただきました皆様には、今後の開催運営の参考とするために、アンケートへの協力をお願いしております。入力フォームは、ここをクリックしてください。

お知らせ  
News

2023年10月12日 [「基調講演」のYouTube配信動画をアップしました](#)

2023年10月11日 [「基調講演」配信の不具合に関するお詫び](#)

2023年10月11日 [九州建設技術フォーラム2023 オンラインバージョンをオープンいたしました。](#)

お問い合わせ

092-284-9211  
(業務委託先: ㈱プランニング松元 担当: 小川)

HOME 開催プログラム 出展者等紹介 「基調講演」LIVE配信 アンケートのお願い

主催:九州建設技術フォーラム実行委員会  
Copyright(C) C.A.G.forum-2023. All Rights Reserved.

### ・ TOP ページ

メインコンテンツ：①開催プログラム ②出展者等紹介 ③「基調講演」LIVE 配信（10 月 11 日～11 月 30 日）④アンケートのお願い

## 開催プログラム

10月11日(水曜日)

時間	場所	内容
12:00～	2Fロビー	受付開始
13:00～13:15	3Fメインホール	開会式 実行委員長挨拶
13:15～14:15	3Fメインホール	基調講演  「DX時代の新しい建設産業に向けて」 講師 立命館大学総合科学技術研究機構 教授 連山 和由氏
14:15～17:00	1Fロビー 2F多目的ホール/ロビー 402・403、405・406会議室	技術情報の提供 ■1Fロビー・2F多目的ホール ・ ブース展示/ポスターセッション/自治体パネル展示/新技術相談 ■402・403、405・406会議室 ・ プレゼンテーション(14:30開始) ■オンラインWEB サイト ・ (12:00～)
14:30～	413・414会議室	リクルーティングプレゼンテーション

・「開催プログラム」の詳細ページ (11日を抜粋)

九州建設技術フォーラム 2023  
オンラインバージョン

092-284-9211

(業務委託先: ㈱アソシエイト)

お問い合わせ

HOME
開催プログラム
出展者等紹介
「基調講演」LIVE配信
アンケートのお願い

福岡国際会議場の1Fロビー及び2F多目的ホールを会場に、ブース展示での技術情報の発信をしていただきます出展者を、インフラDX・安全防災・維持管理・環境・品質のジャンル別に紹介します。また学会からも3機関の情報を紹介します。

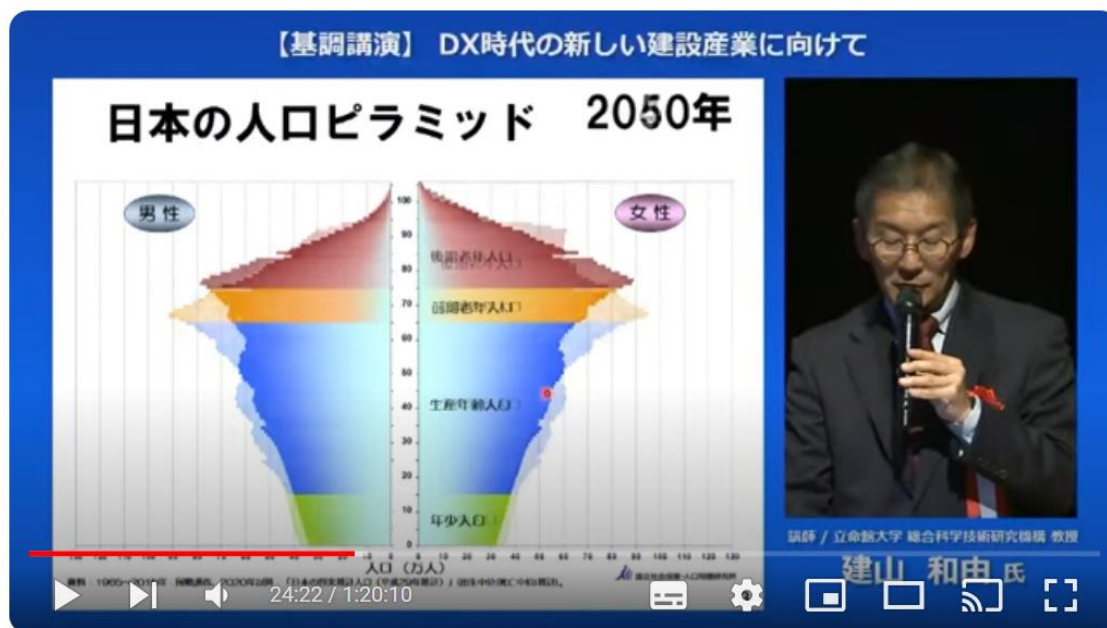
出展者検索

検索したい企業名や技術情報名またはキーワードを入力してください。

出展者ジャンル(タイトルをクリックしたら一覧が表示します)

- インフラDX ▼
- 安全防災 ▼
- 維持管理 ▼
- 環境 ▼
- 品質 ▼
- 学会 ▼

・「出展者等紹介」の詳細ページ



### 九州建設技術フォーラム2023

- ・「基調講演」LIVE 配信の YouTube 画像

アンケートのお願い

WEBサイト閲覧者の皆様へ

本WEBサイトにつきまして、以下のアンケート 調査にご協力ください。

九州建設技術フォーラム2023  
オンラインバージョン

☎ 092-284-9211 (東陽会認定・複合フロンティア数元)

お問い合わせ

HOME 開催プログラム 出展者等紹介 「基調講演」LIVE配信 アンケートのお願い

Q1. 貴社/貴校の属性はどのようになりますか？

A.企業・協会等  B.学校関係  C.行政(国)  D.行政(県市町村)  E.その他(自由業・主婦等)

Q2. 『九州建設技術フォーラム2023』を何で知りましたか？(複数回答可)

A.ポスター  B.チラシ  C.ホームページ  D.新聞  E.その他

Q3. WEBサイトについて、知りたい情報はスムーズに入手できましたか？

A.入手できた  B.入手できなかった  C.わからない

[Q3-1]Q3で「入手できなかった」と回答の方へ、どのような情報が入手しづらかったでしょうか、具体的にお書きください。

Q4. WEBサイトによる情報発信について、今後も継続を希望されますか？

A.希望する  B.希望しない  C.わからない

Q5. WEBサイトの構成内容等について、ご意見・ご要望がありましたらお聞かせください。

- ・「アンケートのお願い」の詳細ページ

## 出展者等紹介

福岡国際会議場の1Fロビー及び2F多目的ホールを会場に、ブース展示での技術情報の発信をしていただきます出展者を、インフラDX・安全防災・維持管理・環境・品質のジャンル別に紹介します。また学会からも3機関の情報を紹介します。

### 出展者検索

検索したい企業名や技術情報名またはフリーワードを入力してください。

### 出展者ジャンル(タイトルをクリックしたら一覧が表示します)

#### ●インフラDX

アイサンテクノロジー株式会社	<a href="#">大規模点群データ高速編集ツール</a>
株式会社アイティエス	<a href="#">3Dハンデイスキャナ</a>
株式会社イクシス	<a href="#">AR 施工状況管理システム</a>
一般財団法人建設物価調査会	<a href="#">i-部品Get</a>
いであ株式会社	<a href="#">インフラDXに活用できる可視化技術</a>
WILL工法協会	<a href="#">ICT対応型スラリー振動攪拌工 (WILL-i工法)</a>
株式会社エイト日本技術開発	<a href="#">全方向水面移動式ボート型ドローン</a>
株式会社エイト日本技術開発	<a href="#">工事中の安全対策検討に資する経路型の挙動検知システム</a>
エヌ・ティ・ティ・インフラネット株式会社	<a href="#">立会受付Webシステム</a>
エヌ・ティ・ティ・インフラネット株式会社	<a href="#">道路工事調整システム</a>
エヌ・ティ・ティ・インフラネット株式会社	<a href="#">BIM/CIM流通システム</a>
エポコラム協会 九州支部	<a href="#">エポコラムTof工法</a>

・「出展者等紹介」の出展技術一覧のページ

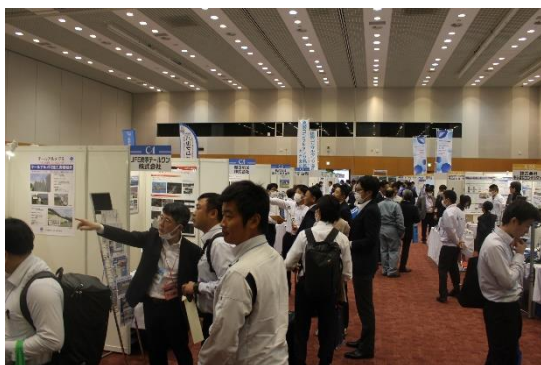
・「出展者等紹介」の出展者紹介固有ページ

●2日目(10月12日)

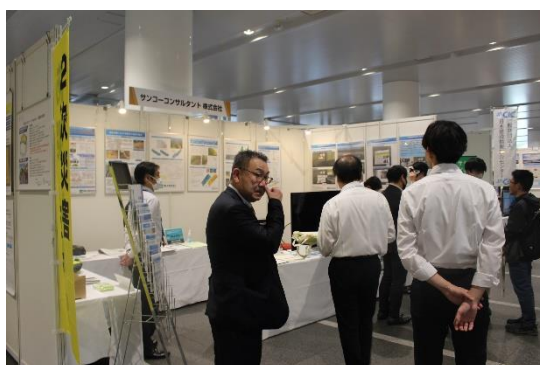
(1) 技術情報提供

1) 技術情報のブース展示(※テーマ及び出展数は11日・12日共通)

▼2階会場展示状況

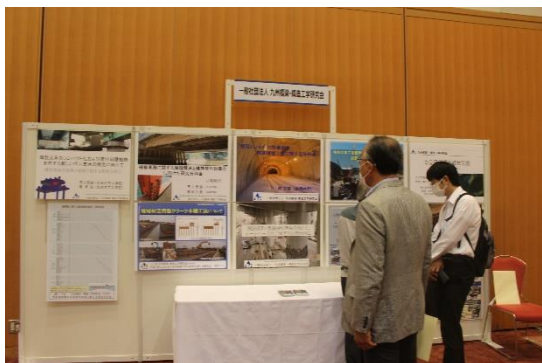


▼1階会場展示状況



## 2) ポスターセッション

・ 出展数：※11日・12日共通



## 3) 自治体パネルの展示

・ 出展者：※11日・12日共通



4) プレゼンテーション (※参加機関数やジャンルは 11 日参照)



5) 新技術相談コーナー (会場：2F ロビー) ※相談状況は、P6 参照

6) 特別プログラム：「土木×落語」(413・414 会議室)

(※後日、建設コンサルタンツ協会九州支部ホームページで公開予定)

- ・柳家 小きん 師匠 (一般社団法人落語協会 真打)
- ・来場者数：202 名



7) WEB サイトによるオンライン出展

- ・出展内容：※11 日・12 日共通

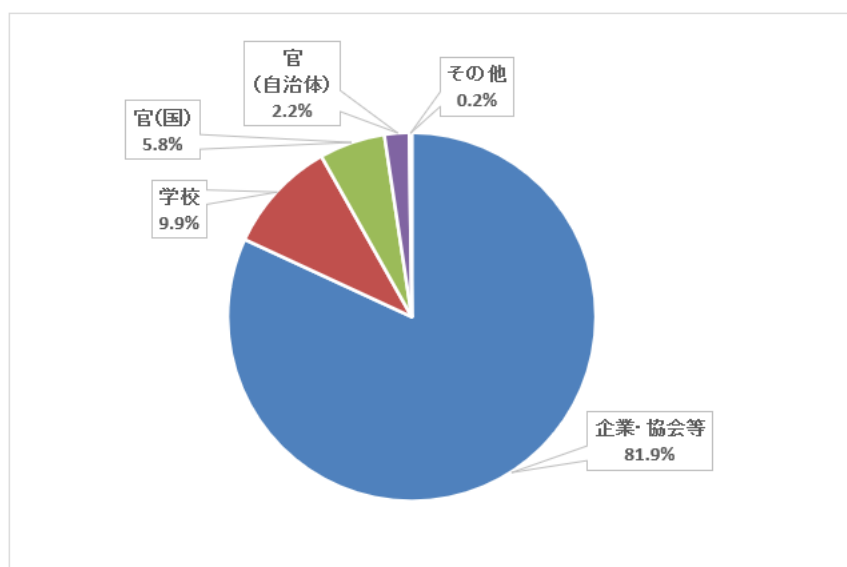
#### 4. 入場者数内訳

##### 「九州建設技術フォーラム2023」来場者内訳

分類		11日	12日	合計
産	※出身県別確認不可	1,041	913	1,954
	小計	1,041	913	1,954
学	大学	133	12	145
	専門学校	92	0	92
	高校	0	0	0
	その他			0
	小計	225	12	237
官	国	44	94	138
	地方自治体	24	28	52
	その他			0
	小計	68	122	190
報道・その他		3	2	5
合計		1,337	1,049	2,386

		11日	合計
講演来場者	メインホール会場	712	712
	小計	712	712

##### 【産学官別入場者内訳】





## 5. 出展方法および所属団体別参加実績

### ■「九州建設技術フォーラム2023」出展実績

#### □出展ブース内訳

		(ブース)
インフラDX		36
コスト		0
安全・防災		19
環境		7
品質		4
維持管理		17
<b>合計</b>		<b>83</b> ※学会×3を除く

#### ▼2022年実績

		(ブース)
	32	インフラDX
	1	コスト
	28	安全・防災
	2	環境
	3	品質
	16	維持管理
<b>合計</b>	<b>82</b>	

#### □出展ブース別技術数内訳

		(技術)
インフラDX		32
コスト		0
安全・防災		54
環境		13
品質		7
維持管理		25
<b>合計</b>		<b>131</b> ※学会×3を除く

		(技術)
41	インフラDX	
3	コスト	
42	安全・防災	
7	環境	
5	品質	
24	維持管理	
<b>122</b>		

#### □参加企業・官・協会団体・学会数内訳

		(組織)
企業		91
官(国)		2
官(自治体)		10
協会団体		27
学会		3
<b>合計</b>		<b>133</b> ※共同出展は2で計上

		(組織)
65	企業	
3	官(国)	
10	官(自治体)	
26	協会団体	
3	学会	
<b>107</b>		

#### □ブース出展者履歴内訳

		(組織)
新規		14
出展実績有		72
<b>合計</b>		<b>86</b> ※共同出展は1で計上

		(組織)
		13
		76
<b>合計</b>		<b>89</b>

#### □ブース出展者所属団体内訳

		(組織)
日本建設業連合会 九州支部		19
日本道路建設業協会 九州支部		2
日本橋梁建設協会 九州事務所		2
日本建設機械施工協会 九州支部		5
日本埋立浚渫協会 九州支部		2
プレストレストコンクリート建設業協会 九州支部		3
全国特定法面保護協会 九州地方支部		3
全国測量設計業協会連合会 九州地区協議会		0
九州コンクリート製品協会		2
建設コンサルタンツ協会 九州支部		15
その他(大学含む)		35
学会		3
発注機関		1
<b>合計</b>		<b>91</b> ※一部重複

		(組織)
		15
		1
		2
		3
		1
		2
		5
		0
		2
		14
		44
		3
		1
<b>合計</b>		<b>93</b>

#### □技術情報の提供方法

		(組織)
ブース展示		86
WEBサイト		0
<b>合計</b>		<b>86</b>

		(組織)
85	ブース展示	
4	ブース展示のみ	
<b>89</b>		

#### □ブース出展者所在地

		(組織)
福岡		64
佐賀		3
長崎		0
大分		0
熊本		1
宮崎		1
鹿児島		0
関東・甲信越地方		12
近畿地方		0
中部地方		2
山口・中国地方		2
北陸地方		0
四国地方		0
北海道		1
東北地方		0
<b>合計</b>		<b>86</b> ※共同出展は1で計上

		(組織)
		62
		3
		0
		2
		1
		1
		0
		12
		1
		3
		0
		1
		0
		2
		1
<b>合計</b>		<b>89</b>

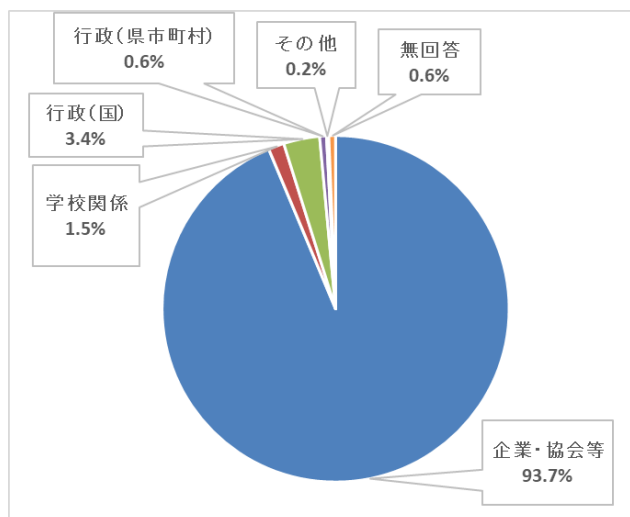
展示種類	出展機関所属団体	出展数		▼2022年実績
				出展数
ブ ー ス 展 示	日本建設業連合会 九州支部	産	19	15
	日本道路建設業協会 九州支部		2	1
	日本橋梁建設協会 九州事務所		2	2
	日本建設機械施工協会 九州支部		5	3
	日本埋立浚渫協会 九州支部		2	1
	プレストレストコンクリート建設業協会		3	2
	全国特定法面保護協会 九州地方支部		3	5
	全国測量設計業協会連合会 九州地区協議会		0	0
	九州コンクリート製品協会		1	2
	建設コンサルタンツ協会 九州支部		15	14
	その他	35	44	
	土木学会 西部支部	学	1	1
	地盤工学会 九州支部		1	1
	九州橋梁・構造工学研究会		1	1
九州地方整備局	発注機関		1	1
合計			91	93
ポ ス タ ー セ ッ シ ョ ン	日本建設業連合会 九州支部	産	1	0
	日本橋梁建設協会 九州事務所		1	1
	プレストレストコンクリート建設業協会 九州支部		1	1
	建設コンサルタンツ協会 九州支部		1	1
	土木学会 西部支部	学	1	1
	地盤工学会 九州支部		1	1
	九州橋梁・構造工学研究会		1	1
	西日本高速道路株式会社		発注機関	1
	九州地方整備局	1		1
	福岡県	官(自治体)	1	1
	佐賀県		1	1
	長崎県		1	1
	熊本県		1	1
	大分県		1	1
	宮崎県		1	1
	鹿児島県		1	1
	福岡市		1	1
	北九州市		1	1
	熊本市		1	1
合計			19	17

※一部重複

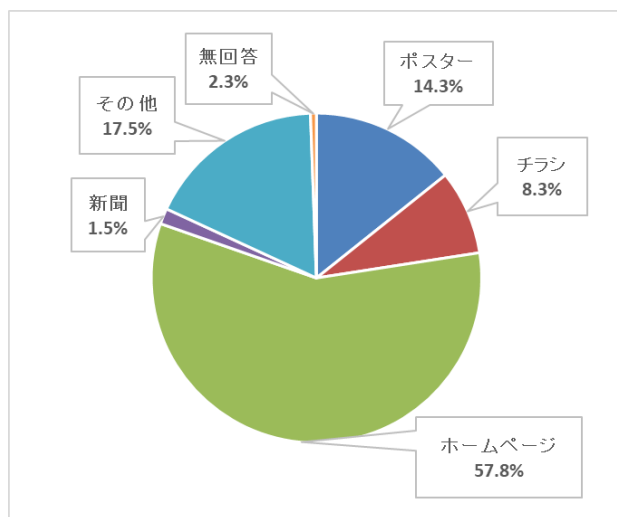
## 6. 来場者等へのアンケート調査結果

【来場者アンケート】（アンケート集計数：476件）

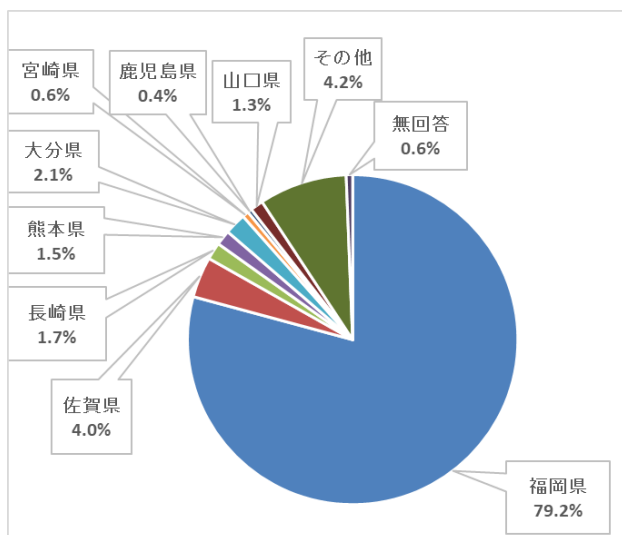
### ●職業は？



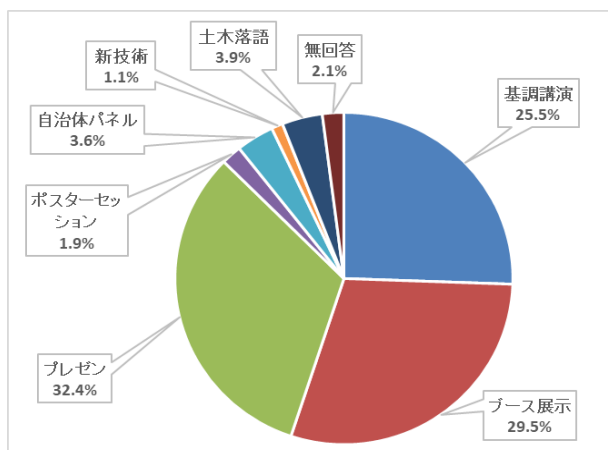
### ●何で知りましたか？



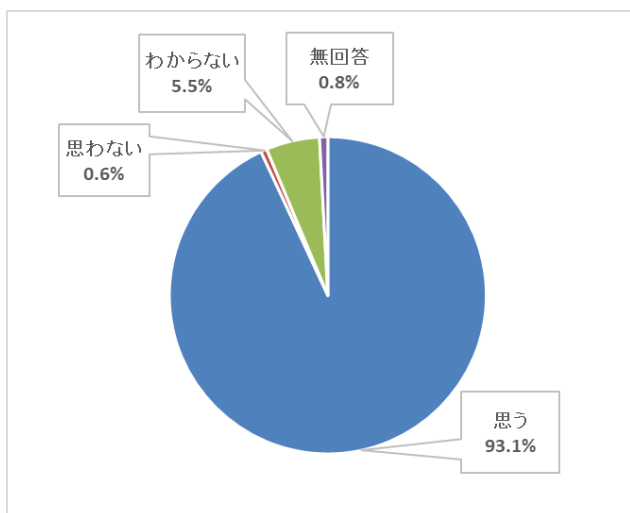
### ●どちらから来られましたか？



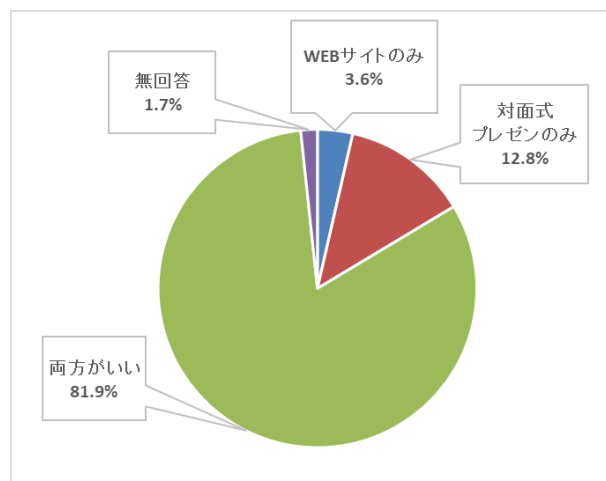
### ●印象に残ったプログラムは？



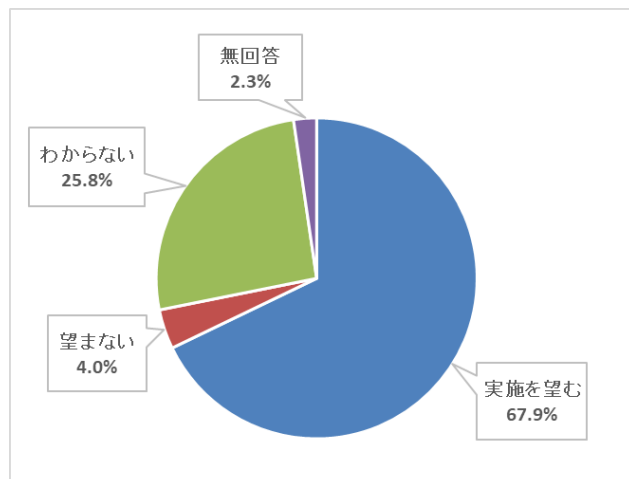
### ●今後参加したいですか？



### ●プレゼンテーションの情報発信はWEBサイトも必要ですか？



●「基調講演」のライブ配信を今後も望むか？



●アンケート回答者の書き込み（一部を抜粋）

**【Q4-1】「基調講演」について、今後聞いてみたいテーマ等ございましたらお聞かせ下さい。**

- ・新しい DX 技術。※他 3 件
- ・DX 推進速度と人員減少速度の相対的な将来像。
- ・調査（地質、点検）における DX。
- ・AI と建設業の現状と将来。※他 2 件
- ・AI 技術、量子コンピューター技術、情報セキュリティについて。
- ・CHA-GPI、AI を活用して設計の省力化がきるか。
- ・国防とインフラ整備。南海トラフ地震と国内整備の実情。
- ・防災に関する新技術。
- ・自然災害への心構え。
- ・災害時の復旧方法について（砂防等）。
- ・線状降水帯のメカニズム、温暖化との関連性などに関する詳細な分析結果を拝聴したい。
- ・Co2 削減について（工法の採用で Co2 がどれくらい削減されているのかを知りたい）。
- ・カーボンニュートラルに向けての技術。
- ・カーボンオフセット関連、カーボンクレジット。
- ・洋上風力と今後の課題。
- ・生産性の向上について（主に施工現場での）。
- ・20 代～30 代の土木に対する意識変革について。
- ・コンクリートにおける生産性向上。
- ・包括的民間委託について。
- ・インフラの安全・補修対策。
- ・下水道の長寿命化の最新技術について。
- ・各種長寿命化計画の現状と課題。
- ・橋梁の定期点検。
- ・土木業界の Society5.0 のあり方。
- ・GX のテーマ。
- ・SD モデリング等について、技術紹介等があれば聞きたい。

**【Q8】技術の出展方法やプレゼンの実施方法についての気づきや改善点があれば。**

●プレゼンについて

- ・プレゼンの座席の間隔をもう少し広く。
- ・プレゼン会場はサイドにモニターが欲しい。
- ・プレゼンとプレゼンの時間がないため、入口が混雑する。改善を。

●ブース展示について

- ・受付は1Fに。1Fブースを見ないで帰る人が多いように見える。
- ・ブースの説明スタッフが少なく、聞きたい技術が聞けなかった。
- ・地盤改良工法のブースが多いと感じた。
- ・環境問題に関するブースがもっとあったらと感じた。
- ・ブース内の見学が多く、混雑解消ために人の流れを一定方向に規制したらどうか。
- ・動画があるブースがわかりやすい。
- ・大きなパネルや模型、実演とかがあるとわかりやすかった。
- ・各ブース丁寧な説明があり、よかった。
- ・各ブース、映像等可視化されておりわかりやすかった。

●その他

- ・リーフに出展者名だけでなく出展技術の記載を。
- ・出展者ですが、来場者の職業属性がわかるようにしてほしい。
- ・2Fに受付があるため、1Fブースが素通りされやすい。
- ・屋外出展のブースもあればいい。
- ・DX関連技術のデモンストレーション。

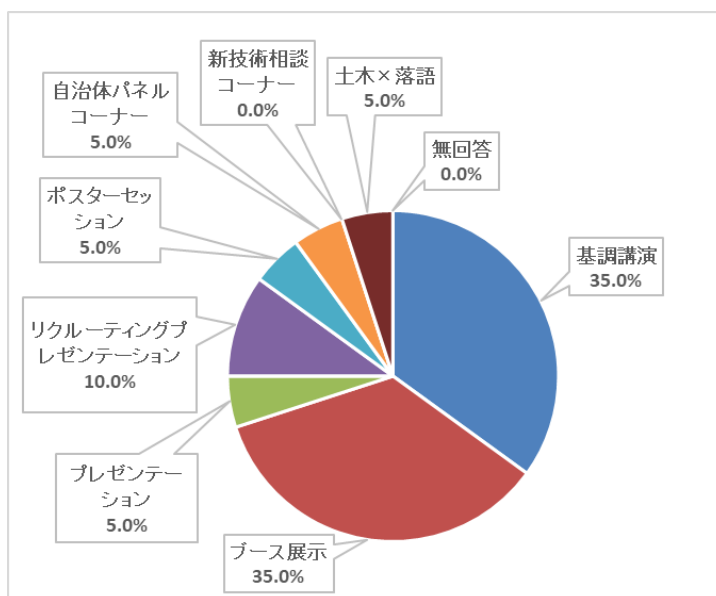
**【Q9】九州建設技術フォーラムへのご要望がありましたらお聞かせ下さい。**

- ・学生の研究発表ブースを設けてみてはどうか。
- ・分野ごと（道路、河川等）にブースを分けて配置してほしい。
- ・設計にかかわる内容を増やしてほしい。
- ・新技術に触れることができるので、継続を。
- ・プレゼンプログラムを専用HPでも公開を。
- ・会場周辺に食事できる場所がないので弁当販売の検討を。
- ・できれば、木曜か金曜の開催を。翌日気になった現場に出向きやすい。
- ・プレゼン1コマの時間を長くしてほしい。
- ・プレゼンのプログラムと、CPDの付与ポイントをもっと早く公開してほしい。
- ・建設業の事務DX関連にもスポットが当たるとうれしい。
- ・脱炭素に関する技術が多く勉強になった。
- ・産学官民の一体に向け頑張る。
- ・コンサルタントの紹介で地質調査も入れてほしい。
- ・海外（欧米、中国）の展示も見たい。
- ・メーカー、コンサルの展示が少ない（展示がマンネリ化）。

## 7. 学生へのアンケート調査結果

【学生アンケート】（アンケート集計数：16件）

【Q1】 関心を持ったプログラムや技術情報の展示は？



### ●アンケート回答者の書き込み（一部を抜粋）

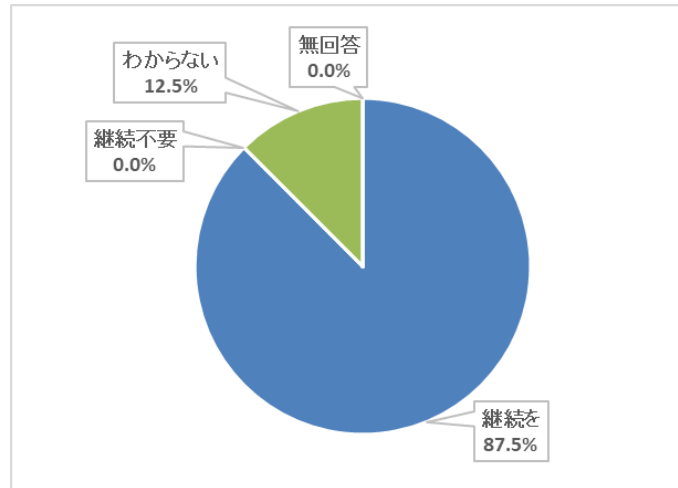
【Q1-1】 とくに印象に残ったプログラムや情報の展示について、その理由は？

- ・デジタル技術活用や AI 活用で、働き手不足や危険作業が少しでも減るのでは、と希望が持ってたので、建山先生の講演は参考になった。
- ・基調講演の DX の話は興味深く聞け、良い内容だった。
- ・土木業界の今後について深く学べたから。
- ・各協会（業界）への理解が深まった。
- ・土層を均一に混ぜる技術で、各層の長所を残しながら強度を上げることは画期てきだと思ったから。
- ・今後の土木就労者を増やすために、ICT 活用や土木の魅力を発信することなどが大切だとわかった。
- ・リクルーティングプレゼンはざっくりした仕事内容がわかり、詳しくその業種について知るきっかけになった。

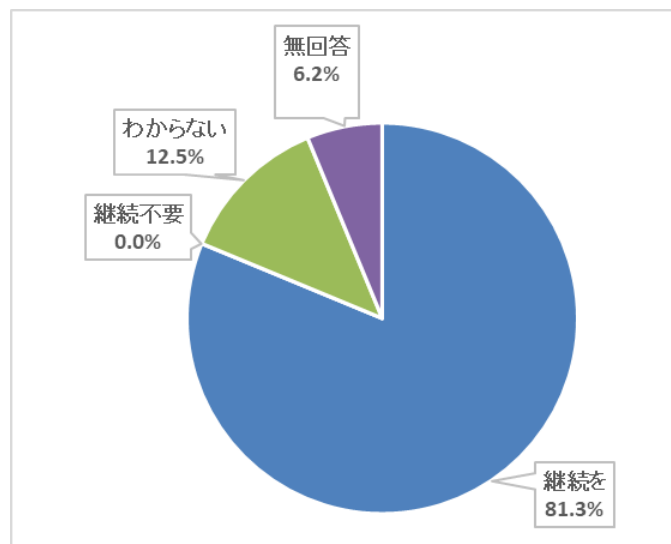
【Q2】 もっと詳しく知りたい、情報が欲しいと思ったプログラムや展示技術は？

- ・自治体レベルでの DX の取り組みはどうか、加速するような仕組みはあるのか、知りたい。
- ・建築設計についても情報が欲しい。
- ・高速道路の施工や車線増加に併せた技術的情報。
- ・建設コンサルタントのブースで、道路の情報が少ないと感じたので、もっと詳しく知りたいと思った。

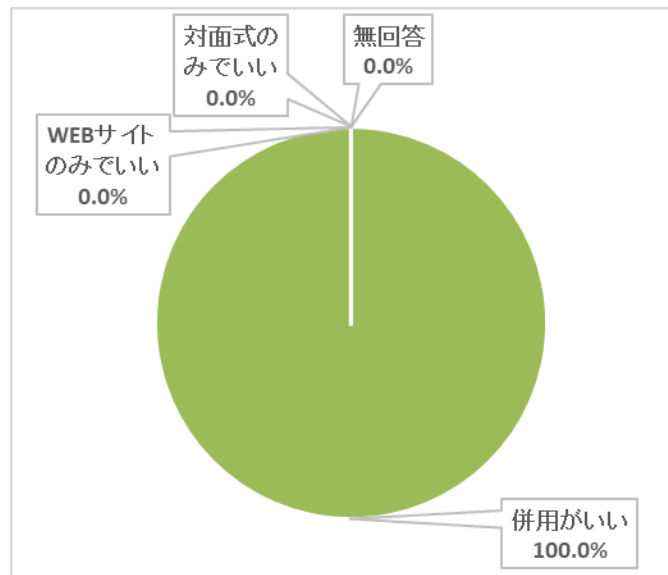
【Q3】今回「基調講演」をライブ配信したが、今後も実施を望むか？



【Q4】「リクルーティングプレゼン」の専用ホームページでの動画配信は今後も継続がいい？



【Q5】対面式のプレゼンに代わる情報発信手法で、来年度以降もWEBサイトが必要か？



**【Q6】プログラムや展示する情報について、何か希望やご意見は？**

- ・WEB でプレゼンの宣伝をしてください。
- ・もっと映像や模型があると技術への理解が深まると感じた。